

## 5つの特徴

### 内視鏡 室の拡充

- ① 内視鏡室とスコープの増加により、内視鏡室を拡充しました。
- ② 日本消化器内視鏡学会認定指導医の指導のもと、消化器病専門医や消化器内視鏡専門医など各種学会の認定資格を持った医師や経験豊富な医師が対応します。
- ③ 内視鏡看護には、日本消化器内視鏡技師会認定技師を配置し、技術やホスピタリティの向上に努めています。
- ④ 前処置から検査終了まで最短で20分で終了します。

### 画像協調機能

 搭載スコープを使用  
粘膜表面の微細な病変情報を得ることができます。

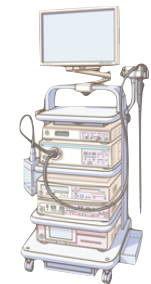
### 検査機器

 をネットワークで結び一元管理  
検査を安全に実施するため、看護師による問診を事前に行います。問診でお伺いした内容は、健診システムに登録され、実施する医師、看護師に申し送ります。ご不明な点は問診時にご確認ください。

### 臨床検査

 室の併設  
胃内視鏡検査でピロリ菌感染が疑われた場合、約20分で検査結果を判定します。ピロリ抗体陽性の方で、除菌を希望される方は当日処方いたします。(保険診療)

### 午後

 から検査を実施しています。  
午後も人間ドックをご受診いただけます。

クリーンな印象の内視鏡室には  
検査ブースを5つ設置  
需要が高く予約が取りにくかった内視鏡  
検査のキャパシティが増加しました。

## 検査について



前回の問診や検査方法、所見を確認し、前処置や検査を行います。

タブレットのバーコード認証で本人確認し、基幹システムと連携させ取り間違いを防ぎます。

誘導支援システムを導入し、胃内視鏡前に実施すべき検査を設定していますので、必要な検査を実施し、最短で誘導します。

当日の血圧高値や問診情報（抗凝固剤の内服、薬物アレルギーなど）から異常値アラートが表示されます。問診室から内視鏡医師への申し送り事項も確認できます。

